

江別市一般廃棄物最終処分場基本構想の概要について

1 目的

現在使用している一般廃棄物最終処分場は平成16年4月に埋立を開始しており、令和10年度中に計画埋立量に達する見込みである。その後の埋立処分を継続していくには、次期一般廃棄物最終処分場の計画的な整備が必要となることから、基本構想をとりまとめた。

2 概要

(1) 埋立容量の想定

国の循環型社会形成推進交付金を活用するため、埋立容量は交付要件に基づき15年分と設定し、将来の埋立ごみ量を想定して算出した。

- ・ 埋立面積：約 21,600 m²
- ・ 埋立容量：約 69,000 m³
- ・ 埋立年数：15年間（令和10年度～令和24年度）

(2) 建設地の選定

現在使用している最終処分場の北西側に隣接する土地は、次期最終処分場の候補地として平成14年から建設残土を堆積してきた土地であり、地質調査により既存地盤の圧密が進んでいることから、本構想では当該敷地を建設地として選定した。（別紙参照）

(3) 施設概要

最終処分場は廃棄物を中間処理（焼却・破碎等）後または直接埋立処分する施設で、浸出水（汚水）の周辺への影響を防ぐため埋立地の内部は2重の遮水シートを採用する。

雨水等により廃棄物と接触して発生した浸出水は、浸出水処理施設で処理し、河川へ放流する。また、大雨時に一時的に浸出水を貯める浸出水調整池を設け、大雨時にも周辺に影響が無いようにする。

次期最終処分場で整備する設備は次のとおりである。

- ・ 浸出水処理施設
- ・ 擁壁等流出防止設備
- ・ 遮水設備
- ・ 雨水排水設備
- ・ 埋立ガス処理設備
- ・ 飛散防止設備
- ・ 搬入管理設備

3 概算工事費

- ・ 埋立地造成工事 1,641 百万円
- ・ 浸出水処理施設建設工事 1,040 百万円
- ・ 設計他関連委託費 134 百万円
- ・ 合計 2,815 百万円

4 今後のスケジュール

種 別	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度～R24 年度		
1 基本設計	●							
2 実施設計		●						
3 プレロード工事			●					
4 最終処分場工事				●	●			
5 埋立						●		